

あるデータベースに対して、検索語 A, B, C を組み合わせた検索式で検索を行ったところ、次のような検索件数となった。このとき正しく言えるのはどれか。

ただし、論理演算子として、and は論理積、or は論理和、not は論理差を表す。また、論理演算子の優先順位は、括弧があればその中が優先とする。

検索式	検索件数
・ A	25 件
・ B	30 件
・ A and B	12 件
・ A and C	10 件
・ B or C	41 件
・ A and B and C	4 件

1. 検索式 A or B で検索した結果は、55 件である。
2. 検索式 A not B で検索した結果は、18 件である。
3. 検索式 (A and B) not C で検索した結果は、6 件である。
4. 検索式 (A or C) not B で検索した結果は、18 件である。
5. 検索式 C で検索した結果は、34 件以上 41 件以下である。

免許資格職試験
専門試験 司書

出題分野 情報サービス論
正答位置 4

新聞に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 『朝日新聞』、『毎日新聞』は一般紙であり、『日本経済新聞』、『産経新聞』は専門紙である。
2. 新聞の判型にはブランケット判とタブロイド判があり、『読売新聞』の判型はブランケット判である。
3. 日本新聞協会の調査によると、新聞（朝刊・平日）の平均閲読時間は30歳代が最も長く、次いで70歳代、60歳代の順となっている。
4. 文部科学省が学校図書館への新聞配備の予算措置を行ったことにより、学校図書館に新聞を配備している小学校の割合は90%を超えている。
5. 新聞紙の紙質の改善が進み、長期保存が容易になったため、公共図書館では新聞の現物を永久保存しているところが多い。

免許資格職試験
専門試験 司書

出題分野 図書館情報資源論
正答位置 2